



カケハシ・プロジェクト（米国） 大学生招へい第1陣（Northwestern University）の記録

1. プログラム概要

【目的】米国イリノイ州シカゴのノースウェスタン大学の大学生が来日し、ホームステイや学校交流、視察等を通じて日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などについて理解を深めるとともに、日米の青少年同士の友情を深め、ネットワーク強化を図り、日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。

【参加者】米国イリノイ州シカゴの大学生及び学校関係者 計8名

【訪問地】東京都、北海道

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

12月7日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

12月12日（火曜日） 羽田空港より入国

12月13日（水曜日） 【視察】江東区深川江戸資料館・清澄庭園

【視察】渋谷

【視察】明治神宮・原宿（日本のポップカルチャー）

【視察】東京タワー

12月14日（木曜日） 【視察】国会議事堂

【視察】皇居・丸の内

東京都から北海道へ移動

【視察】函館山ロープウェイ

12月15日（金曜日） 【視察】元町散策（旧函館公会堂見学含）・五稜郭公園（箱館奉行所見学含）

【学校交流】北海道教育大学函館校

【体験】子ども食堂ボランティア

【ホストファミリー対面式】

12月16日（土曜日） 【ホームステイ】

12月17日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】

【文化体験】ミニチュア土器づくり（大船遺跡・函館市縄文文化交流センター）

- 12月18日（月曜日） 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
北海道から東京都へ移動
- 12月19日（火曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
【視察】TEPIA 先端技術館
羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



12月13日【視察】江東区深川江戸資料館・清澄庭園

12月13日【視察】渋谷



12月13日【視察】明治神宮・原宿

12月13日【視察】東京タワー



12月14日【視察】国会議事堂



12月14日【視察】皇居・丸の内



12月14日【視察】函館山ロープウェイ



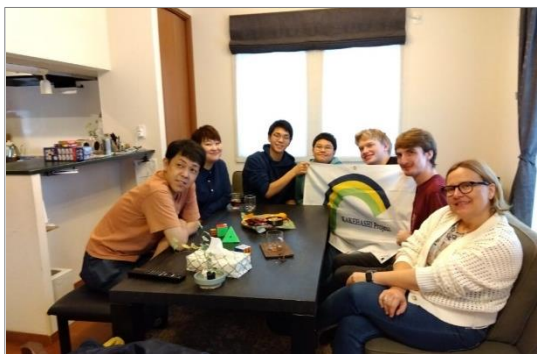
12月15日【視察】元町散策（旧函館公会堂見学含）・五稜郭公園（箱館奉行所見学含）



12月15日【学校交流】北海道教育大学函館校



12月15日【体験】子ども食堂ボランティア



12月16日【ホームステイ】



12月17日【ホストファミリー歓送会】



12 月 17 日【文化体験】ミニチュア土器づくり
(大船遺跡・縄文文化交流センター)



12 月 18 日【ワークショップ】報告会準備



12 月 19 日【報告会】



12 月 19 日【視察】TEPIA 先端技術館

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

大学生交流、子ども食堂、ホームステイが、カケハシ・プログラムの中で最も印象的でした。これまで学校の日本語の授業でしか聞いたことがなかった、日本人の日常生活を学ぶ機会になりました。単に訪日し、有名な観光地を訪れる旅行客ではなく、日本に暮らしているような気分でした。有名な観光地は確かに素晴らしいですが、子ども食堂でのボランティアなど日常活動への参加は、本当に心に残りました。子どもたちは必ずしも親身になって私たちに耳を傾けてくれる訳ではないので、コミュニケーションが難しかったです。しかし、その分とても価値のあるものでした。加えて、日本における貧困（特に子どもの貧困）や大学生が社会生活に関して直面している課題など、重要な社会問題について知る機会となりました。

◆ 大学生

私にとって最高のプログラムは、学校交流とホームステイでした。大学の同世代の人たち及びホストファミリーの人たちの慣行、習慣、日常生活について、大変多くの学びがありました。個人的に、米国社会よりも、日本社会における文化的慣習・期待を高く評価します。日本ではプライバシーや他人への思いやり、清潔さを尊重しますが、米国ではそこまで一般的ではありません。例えば、電車の中で電話をしない、道で食べ歩きをしない等の小さな習慣が気に入りました。これは他人へのリスペクトや思いやりを増進させると思いました。

◆ 大学生

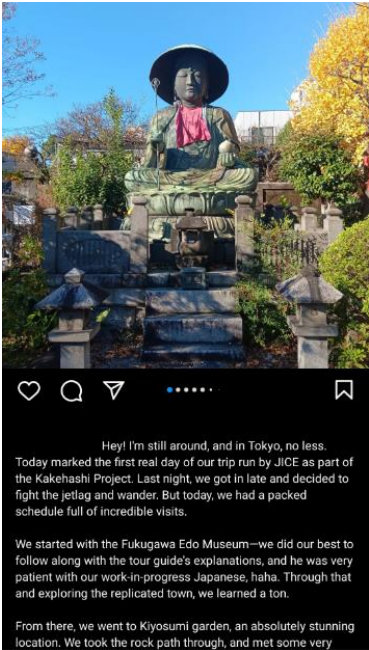
国会議事堂を訪れて本当に楽しい時間を過ごしました。統一性・一貫性に対する多くの思いがデザインに表れていることに感動しました。各県が庭園に植物を寄贈し、多くの県が建物を作るための原材料を提供したのは、アメリカの競争的な性向とは非常に異なる印象を受けました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流先教員

日本に対して興味や親しみを持ってくれているのを感じました。また、参加者のみなさんが日本語で頑張って話そうとしていた姿に、生徒たちは感銘を受けていました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 Hey! I'm still around, and in Tokyo, no less. Today marked the first real day of our trip run by JICE as part of the Kakehashi Project. Last night, we got in late and decided to fight the jetlag and wander. But today, we had a packed schedule full of incredible visits. We started with the Fukugawa Edo Museum—we did our best to follow along with the tour guide's explanations, and he was very patient with our work-in-progress Japanese, haha. Through that and exploring the replicated town, we learned a ton. From there, we went to Kiyosumi garden, an absolutely stunning location. We took the rock path through, and met some very	 #kakehashiproject #kakehashi2023 @jice_exchange Tokyo Tower! the views here were stunning and we could even see Mt. Fuji from the tower. The sun was setting and it felt like a movie scene so beautiful!
2023 年 12 月 13 日（Instagram） 今日は JICE が運営するカケハシ・プロジェクトの記念すべき初日でした。終日スケジュールがぎっしり詰まっていて、すばらしい訪問の連続でした。 深川江戸資料館に始まり、そこではガイドの説明に頑張っついていきました。ガイドは辛抱強く、発展途上である私達の日本語を最後まで聞いてくださいました。その説明と模型で再現された街の探索から、たくさん学ぶことができました。（後略）	2023 年 12 月 13 日（Instagram 等） 東京タワー！眺めは息をのむような素晴らしさで、富士山も見ることができました。太陽が沈んでいく様子は、まるで映画のワンシーンのようで、本当に美しかったです！

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、北海道（全2グループが発表）

	
【訪日中の学び】 ・ 日米間の日常生活における違い ・ 歴史的再現 ・ 環境保全の取組（水、資源、ゴミの分別） ・ 日本の冬支度 【学んだ知見の適用】 ・ 日本学を副専攻し継続して日本語を学習 ・ 日本で得た情報をもとにスクラップブックを作成、共有 ・ 次年度、日本への留学 ・ 日米間の政治的な結びつきを強化 【アクション・プラン】 冬学期に、日本または日本での留学に興味のある学生に向けて、グローバルラーニングオフィス主催の日本留学情報セッションで、カケハシプロジェクトや早稲田大学でのサマーセッションに関するプレゼンテーションを行います。日本で安心して生活することを目的にします。グローバルラーニングオフィスに依頼し、日程を調整します。 【その他のアクション・プラン】 ・ 子ども食堂の実施 ・ 大学の寮学生の団体向けにカケハシに関するプレゼンテーション ・ 日本の歴史の紹介	【訪日中の学び】 ・ 礼儀正しく、他者を敬う姿勢 ・ 日本の日常生活や大学生の生活 ・ 都市部と地方のコミュニティの違い ・ 公共交通や環境への配慮（史跡保全含む） ・ 社会問題への意識（こども食堂） ・ 対外関係史、行政プロセス・政治構造など 【学んだ知見の適用】 ・ 日本への留学や、継続した日本語学習へのモチベーションアップ ・ 将来設計（訪日・日本での生活や就職など）の計画 ・ 帰国後、日本の文化的慣習を実践 ・ 異文化・異人たちとの積極的な交流 【アクション・プラン】 春休み期間中、教会青年団を対象に、縄文時代・縄文土器の様式について伝えます。 【その他アクション・プラン】 ・ カケハシ参加者の経験を記事にし、ホームページ、印刷物、SNSで公開 ・ 日本語クラブなどで情報共有 ・ 催し物の企画（折り紙や習字など）

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）